

平成31年度

## 第1学年 美術科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時 数
1年美術 (日本文教出版)	みやぎの美(秀学社)	安達 京子	週1～2時間 年45時間

## 1 教科目標

- (1) 主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする意欲と態度を高める。
- (2) 感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現を構想する能力を伸ばす。
- (3) 表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す能力を伸ばす。
- (4) 美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさなどを感じ取り、味わったり、理解したりする能力を伸ばす。

## 2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
関心・意欲・態度	美術に関心を持ち、意欲的に授業に取り組むことができる。 授業への取り組み姿勢、作品、クロッキー帳、提出プリント
発想や構想の能力	表現方法を工夫して発想を豊かに表現することができる。 作品、クロッキー帳、提出プリント
創造的な技能	自分の表現したい方法を工夫して、創造的に表現できる。 作品、クロッキー帳、提出プリント
鑑賞の能力	作者の表現意図や作品のよさに気付くことができる。 学級での鑑賞会への取り組み、鑑賞プリント

## 3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4 5～6	・美術との出会い ・見て感じて、描く	1 8	・発見や感動の大切さに気付く。 ・身近なものの中に潜む美に気づき、愛着をもって描こうとする気持ちを育成する。 ・用具の使い方の習得など、表現するために必要な基礎的な力を身に付ける。	
6～7	・文字のデザイン	8	・身の周りの文字が情報伝達のためデザインされていることに気付き、興味をもつ。 ・文字のもつ意味と視覚的な形の可能性を探究し、文字をデザインする。	
8～10	・色の広がり、色の魅力	5	・色彩のよさや美しさを表現に生かす。 ・デザインの彩色方法を身に付ける。	

【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
10～12	・美しい構成と装飾	9	・目的や条件を基に、身近なものや色彩の美しさなどをとらえて構成を考え、着彩などを工夫してデザインする。	
1	・美術を味わう	1	・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもつ。	

1～3	・暮らしに息づく木の命	1 3	・木肌のもつ温かさや優しい感触を生かし、用途や機能と美しさなどを考え、木の生かし方や用具などを工夫してデザインする。	
-----	-------------	-----	--	--

#### 4 授業への取り組み方, 準備物

- ・1時間の授業ごとにねらいや課題をしっかりと確認して授業に臨む。
- ・忘れ物をせず, 作品等の提出期限を守る。
- ・聞く, 考える, 制作する, 発表する等の学習のけじめをきちんと付ける。
- ・よりよい作品を目指し, 最後まで粘り強く制作する。
- ・いろいろな作品や友達の作品と向き合い, 見方を広げ, 深める。
- ・自分の意見や考えを言葉でまとめ, 表現することができるようにする。
- ・準備物: 教科書, 鉛筆  
※その他の準備物はその都度連絡します。(例: 絵の具)

#### 5 家庭での学習方法

- ・学校で習ったことを家でもう一度やってみましょう。
- ・美術の授業では, 発想を膨らませるためにアイデアスケッチを何枚も描いて, 試行錯誤することが大切になります。発想を膨らませるために資料収集をしておくといでしょう。
- ・普段から, さまざまなものに触れたり, 美術館に足を運んだり, 映画を見たりすることで感動し, 美しいと思う心をもつことが大切です。

平成31年度

## 第2学年 美術科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時数
1年美術 (日本文教出版)	みやぎの美(秀学社)	1, 2, 3, 5組 原 也寸志 4, 6組 安達 京子	週1時間 年35時間

## 1 教科目標

- (1) 主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする意欲と態度を高める。
- (2) 感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現を構想する能力を伸ばす。
- (3) 表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す能力を伸ばす。
- (4) 美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさなどを感じ取り、味わったり、理解したりする能力を伸ばす。

## 2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
関心・意欲・態度	美術に関心を持ち、意欲的に授業に取り組むことができる。 授業への取り組み姿勢、作品、クロッキー帳、提出プリント
発想や構想の能力	表現方法を工夫して発想を豊かに表現することができる。 作品、クロッキー帳、提出プリント
創造的な技能	自分の表現したい方法を工夫して、創造的に表現できる。 作品、クロッキー帳、提出プリント
鑑賞の能力	作者の表現意図や作品のよさに気付くことができる。 学級での鑑賞会への取り組み、鑑賞プリント

## 3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4～5	・人の動きを捉えて	3	・描くことを通して、人が示す何気ないしぐさや表情に注目し、その造形的特徴や動きをよく観察し、把握する力を身に付ける。	
5	・美術を味わう①	1	・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもつ。	
6～10	・ステンド・アート	14	・ステンドグラスの歴史的背景や特徴について知り、興味をもつ。 ・色料の三原色について知り、色料の三原色を混色して様々な色を作り出すことができる。 ・主題を生み出し、想像力を膨らませ、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵で表現する。	

【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
1 0	・美術を味わう②	1	・造形的なよさや美しさ，作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り，自分の思いや考えをもつ。	
1 1～2	・立体に思いを込めて	1 0	・自分の内面を見つめ，自分の分身となる形を見つけ出す。 ・量感を意識し，立体で表現する。	
2～3	・名画の魅力に迫る	5	・造形的なよさや美しさ，作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り，自分の思いや考えをもつ。 ・空間表現の方法を身に付ける。 ・身近な空間を技法を用いて描く。	

**4 授業への取り組み方，準備物**

- ・1時間の授業ごとにねらいや課題をしっかりと確認して授業に臨む。
- ・忘れ物をせず，作品等の提出期限を守る。
- ・聞く，考える，制作する，発表する等の学習のけじめをきちんと付ける。
- ・よりよい作品を目指し，最後まで粘り強く制作する。
- ・いろいろな作品や友達作品と向き合い，見方を広げ，深める。
- ・自分の意見や考えを言葉でまとめ，表現することができるようにする。
- ・準備物：教科書，鉛筆  
※その他の準備物はその都度連絡します。（例：絵の具）

**5 家庭での学習方法**

- ・学校で習ったことを家でもう一度やってみましょう。
- ・美術の授業では，発想を膨らませるためにアイデアスケッチを何枚も描いて，試行錯誤することが大切になります。発想を膨らませるために資料収集をしておくといでしょう。
- ・普段から，さまざまなものに触れたり，美術館に足を運んだり，映画を見たりすることで感動し，美しいと思う心をもつことが大切です。

平成31年度

## 第3学年 美術科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時数
2, 3年美術・上下 (日本文教出版)	みやぎの美 (秀学社)	安達 京子	週1時間 年35時間

## 1 教科目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つめる力や感性、想像力を高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術との関わりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする意欲と態度を高める。

## 2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
関心・意欲・態度	美術に関心を持ち、意欲的に授業に取り組むことができる。 授業への取り組み姿勢、作品、クロッキー帳、提出プリント
発想や構想の能力	表現方法を工夫して発想を豊かに表現することができる。 作品、クロッキー帳、提出プリント
創造的な技能	自分の表現したい方法を工夫して、創造的に表現できる。 作品、クロッキー帳、提出プリント
鑑賞の能力	作者の表現意図や作品のよさに気付くことができる。 学級での鑑賞会への取り組み、鑑賞プリント

## 3 学習計画

## 【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	・美術を味わう①	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩、構図や描き方、制作過程から、作者の心情や意図と造形的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。</li> <li>・自分の内面を見つめ、自己の確立を目指す。</li> <li>・鉛筆のよさを生かして描く。</li> <li>・お互いの自画像を鑑賞し、自他を尊重する気持ちを養う。</li> </ul>	
5～9	・自分らしさを見つめて	15		

## 【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
10	・美術を味わう②	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもつ。</li> <li>・素材がもつ特性や美しさを生かし、用途や機能、楽しさなどを考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。</li> <li>・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもつ。</li> </ul>	
10～2	・手づくりを味わう喜び	16		
2	・美術を味わう③	1		

#### 4 授業への取り組み方，準備物

- ・1時間の授業ごとにねらいや課題をしっかりと確認して授業に臨む。
- ・忘れ物をせず，作品等の提出期限を守る。
- ・聞く，考える，制作する，発表する等の学習のけじめをきちんと付ける。
- ・よりよい作品を目指し，最後まで粘り強く制作する。
- ・いろいろな作品や友達の作品と向き合い，見方を広げ，深める。
- ・自分の意見や考えを言葉でまとめ，表現することができるようにする。
- ・準備物：教科書，鉛筆  
※その他の準備物はその都度連絡します。（例：絵の具）

#### 5 家庭での学習方法

- ・学校で習ったことを家でもう一度やってみましょう。
- ・美術の授業では，発想を膨らませるためにアイデアスケッチを何枚も描いて，試行錯誤することが大切になります。発想を膨らませるために資料収集をしておくといよいでしょう。
- ・普段から，さまざまなものに触れたり，美術館に足を運んだり，映画を見たりすることで感動し，美しいと思う心をもつことが大切です。